



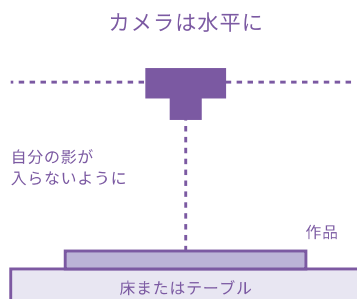
作品撮影ガイド

基本

作品の色や形が正確に伝わるように撮影します。

撮影準備

平面作品（床や台に置く場合）



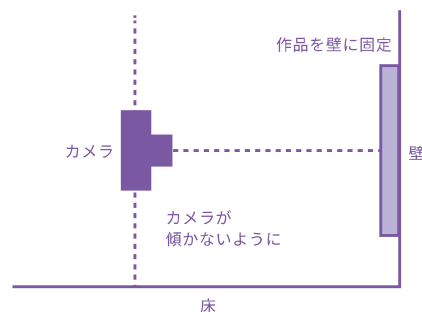
- 額は反射や映り込みがないようなるべく外す

カメラの画面

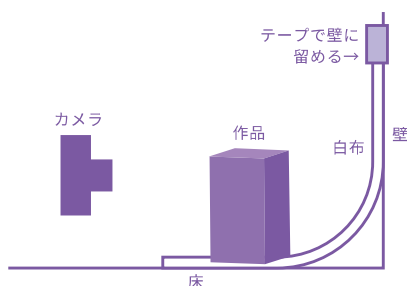


カメラが傾いていると
作品の形がゆがんでしまう

平面作品（壁に固定する場合）



立体作品の場合



- 白い紙や布を壁から床にふんわり垂らし、その上に作品を置いて撮影する
- 正面や斜めなど角度を変えて数枚撮影する

<撮影ツール>

- ・カメラ：デジカメでもスマホでも OK
- ・三脚（あれば）
- ・場所：
十分な明るさがある（自然光や室内照明など）

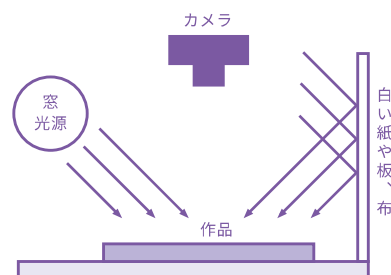
照明

作品の色彩や質感を伝えるために、照明は大切です
平面は、画面の明るさが均一になるようにします。

- 自然光で撮る
光が強すぎない曇天がおすすめ。
夕方の光は色が変わってしまうのでなるべく避ける
- 室内照明（蛍光灯・白熱灯・LED）
自然光を入れず1種類の照明で撮影すると色調整がしやすい
- カメラのストロボは強すぎるので避ける
どうしても明るさが足りない時は、ストロボにカバーを付けるなどして光を散らす工夫を。
- その他
強い色の壁やカーテンがある場所は避ける

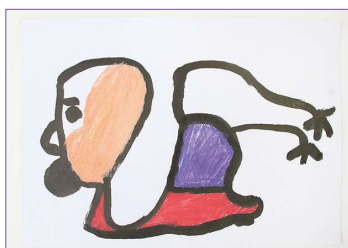
<明るさにムラがある時は>

作品の画面に明るい部分と位部分がある場合は、
作品を挟んで光源と反対側に白い紙等を立てると、
光が分散してムラが少なくなります



【平面作品のポイント】

- ・ 作品全体を画面の中に収める
- ・ 形が歪んでいない
- ・ 明るさが均一でムラがない
- ・ 実物の色を再現している



【立体作品の写真例】

斜め前から撮ることで、正面・側面・上部をバランスよく伝えることができます

